SHARP

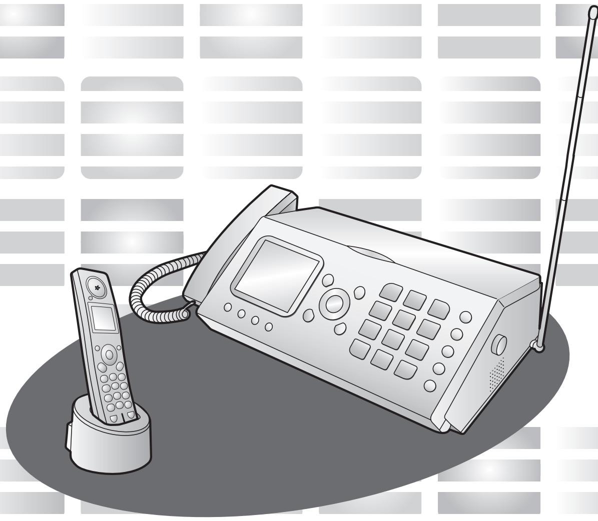
fappy [ファッピィ:]
FAX makes it happy.

普通紙コピーファクシミリ
取扱説明書

ユーエックス エフ シーエル
形名 UX-F50CL
ユーエックス エフ シーダブル
UX-F50CW

お買いあげいただき、まことにありがとうございました。
●この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
ご使用の前に「安全に正しくお使いいただくために」(☞4～5ページ)を必ずお読みください。
●この取扱説明書は、いつでも見ることができる所に必ず保存してください。

もくじ
ご使用の前に　取付　設定
電話　電話帳　留守番
コピー／ファクス　コピー　ファクス
便利な機能
ナンバー・ディスプレイ
こまったときは
ご参考に
さくいん





別売品　<ご注文は、お買いあげの販売店へお申し付けください>
別売品は当社の推奨品をお使いください（詳しくは ☞135ページ）。

品名	形名	サイズ	希望小売価格（税抜価格）
ファクシミリ用普通紙	PP110MA4	A4サイズ（250枚）	630円（600円）
インクリボン（お買いあげ時にセットされているインクリボンはお試し用です）	UX-NR5A4	A4幅× 30m １本	945円（900円）
	UX-NR5A4W	A4幅× 30m ２本１組	1,785円（1,700円）
コードレス子機用充電池（ニッケル水素充電池）	M-003		1,680円（1,600円）

Ni-MH
ニッケル水素電池のリサイクルにご協力ください。

技術基準適合品

もくじ

ご使用の前に

電　話

コピー／ファクス

便利な機能

ナンバー・ディスプレイ

こまったときは

ご参考に

安全に正しくお使いいただくために

この取扱説明書および商品には、安全にお使いいただくためにいろいろな表示をしています。その表示を無視して誤った取り扱いをすることによって生じる内容を、次のように区分しています。内容をよく理解してから本文をお読みになり、記載事項をお守りください。

図記号について

⚠危険 人が死亡または重傷を負うおそれが高い内容を示しています。

⚠警告 人が死亡または重傷を負うおそれがある内容を示しています。

⚠注意 人がけがをしたり財産に損害を受けるおそれがある内容を示しています。

図記号の意味

上の記号は、気をつける必要があることを表しています。

上の記号は、してはいけないことを表しています。

上の記号は、しなければならないことを表しています。

⚠危険

充電池の取り扱いについては、必ず次のことを守ってください。正しく使用しないと、充電池の液漏れ・発熱・破裂により、やけどやけがの原因となります。

- **■充電池をネックレス・ヘアピンなどと一緒に持ち運んだり、保管しないでください。**
- **■充電池ふたを取り付けるときは、充電池のコードをはさまないようにしてください。**
- **■充電池の⊕⊖端子を金属などで接触させないでください。**

- **■充電池を水や火の中に捨てたり、加熱したりしないでください。**

- **■充電池は、専用のものを使用してください。**
- **■充電池の液が目に入ったときは、こすらずに、すぐにきれいな水で洗ったあと、直ちに医師の治療を受けてください。**
  失明のおそれがあります。

⚠警告

- **■水や薬品などの液体をこぼさないでください。ペットのいるご家庭では、ペットの尿にもご注意ください。**
  火災・感電の原因になります。液体をこぼした場合は、差し込みプラグを抜いて販売店へご相談ください。
- **■充電池のビニールカバーを、はがしたりしないでください。**
  充電池の液が漏れたり、発熱・破裂させる原因になります。
- **■電源コード・差し込みプラグを破損するようなことはしないでください。**
  次のようなことはしないでください。
  ・傷つける　・無理に曲げる
  ・加工する　・無理にねじる
  ・熱器具に近づける　・重い物を載せる
  ・無理に引っ張る　・束ねる
  傷んだまま使用すると、感電や火災の原因になります。コードやプラグの修理は、販売店へご相談ください。
- **■コンセントや配線器具の定格を超える使いかたはしないでください。**
  たこ足配線などで定格を超えると、発熱による火災の原因になります。

- **■内部に金属物を入れないでください。**
  火災・感電の原因になります。金属物が入った場合は、差し込みプラグを抜いて販売店へご相談ください。
- **■この製品を持ち運ぶときは、落としたり、衝撃を与えたりしないようにしてください。**
  けがの原因になります。
  万一、この製品を落としたり、キャビネットを破損した場合は販売店へご連絡ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因になります。
- **■医療用電気機器の近くでは使用しないでください。**
  本機からの電波が医療用電気機器に影響を及ぼすことがあり、誤動作による事故の原因になります。

- **■浴そうなど、湿気の多い場所では絶対に使用しないでください。**
  絶縁が悪くなり火災・感電の原因になります。

- **■ご自身での分解や修理・改造は絶対にしないでください。**
  火災・感電の原因になります。修理は販売店へご相談ください。

⚠警告

■差し込みプラグは根元まで確実に差し込んでください。
感電や発熱による火災の原因になります。傷んだプラグ・ゆるんだコンセントは使用しないでください。

■差し込みプラグを抜き差しするときは本体（金属でない部分）を持ってください。
感電の原因になります。

■この製品は国内電源仕様です。必ず家庭用電源電圧（交流100V）に接続してください。
海外や交流100V以外の電源電圧で使用すると、火災や感電の原因になります。

■子機を充電するときは、専用の充電器を使用してください。
指定以外のものを使用すると、充電池の液漏れ・発熱・破裂により、やけどやけがの原因になります。

■雷が鳴り始めたら、安全のため早めに差し込みプラグをコンセントから抜いてください。
火災・感電・故障の原因になります。

■煙・異臭・異音が出たり、落下・破損したりした場合は使用を中止してください。
火災・感電の原因になります。差し込みプラグを抜いて販売店へご相談ください。

■ぬれた手で差し込みプラグの抜き差しはしないでください。
感電の原因になります。

⚠注意

■水平でない場所や振動の激しい場所には置かないでください。
落下により破損・けがの原因になることがあります。

■表示部（画面）へ物を落としたり、強く押さえたり、爪や硬いものや先のとがったもので押さないでください。
破損・けがの原因になることがあります。

■充電器の上にコインやクリップなどの金属物を置かないでください。
また、磁力線がでていますので、磁気に弱い物（キャッシュカード、テレホンカード、自動改札定期券、カセットテープ、フロッピーディスクなど）を近づけないでください。
やけど、けがの原因となります。また、磁気に弱い物は使えなくなることがあります。

■暑い場所や直射日光のあたるところ、冷暖房機の近くには置かないでください。
35℃以上、5℃以下では、誤動作・変形・故障の原因になります。

■充電器を布や布団でおおったり、つつんだりしないでください。
熱がこもり、火災の原因になることがあります。

■湿気や湯気・油煙・ほこりの多い場所では使用しないでください。
火災・感電・故障の原因になることがあります。

■風通しの悪いところや、じゅうたんなどの上に置かないでください。
通気孔をふさぎ本体の放熱が悪くなり、じゅうたんなどの変色、火災の原因になることがあります。

■充電池は、幼児の手の届かない所に保管してください。

■この製品を移動するときは、アンテナをたたんで、差し込みプラグ・電話機コードを抜いてください。
事故の原因になることがあります。

■カバーを閉めるときに、指などをはさまないように注意してください。
けがの原因になることがあります。

■火気や熱器具に近づけないでください。
変形や故障、火災の原因になることがあります。

■手で直接記録ヘッドに触れないでください。
発熱している場合があり、やけどやけがの原因になることがあります。

■点検・清掃（お手入れ）は、必ず差し込みプラグをコンセントから抜いて（記録ヘッドなど熱くなるものは冷えてから）行ってください。
感電やけが（やけど）の原因になることがあります。

万一漏電した場合の感電事故防止のため、アース線を取り付けてください。

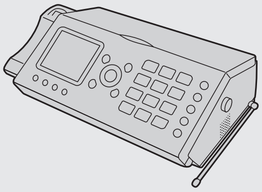
○アース線を取り付けられるところ
電源コンセントのアース端子
銅片などを65cm以上、地中に埋めたもの
設置工事（D種）が行われている接地端子

○アース線を取り付けてはいけないところ
ガス管／電話専用アース／避雷針／
水道管や蛇口

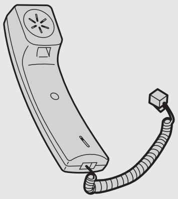
付属品の確認

このたびは、「普通紙コピーファクシミリ」をお買いあげいただき、まことにありがとうございました。
まず、次のものがすべてそろっているか、確認してください。もし足りない場合やちがうものが入っているときは、お買いあげの販売店にご連絡ください。

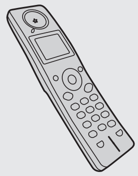
親機　1台



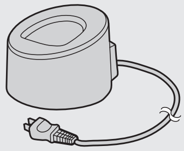
受話器　1個
受話器コード　1本



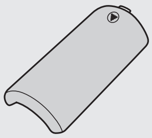
子機
UX-F50CL：**1台**
UX-F50CW：**2台**



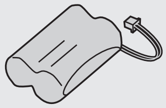
充電器（子機用）
UX-F50CL：**1個**
UX-F50CW：**2個**



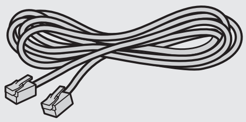
充電池ふた
UX-F50CL：**1個**
UX-F50CW：**2個**



充電池
UX-F50CL：**1個**
UX-F50CW：**2個**

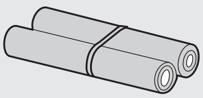


電話機コード
（約1.5m）1本



●インクリボンとインクリボン用ギヤは、あらかじめ親機にセットされています。

お試し用インクリボン　1本



インクリボン用ギヤ
緑色：1個
白色：1個



●付属のお試し用のインクリボンは、工場出荷時に正しくプリントできることを確認したものです。別売のインクリボンよりもプリントできる枚数が少なくなっておりますので（A4サイズで、約20枚印刷可能）、お早めに別売インクリボンをお買い求めください（☞ 135ページ）。
●インクリボン用ギヤ（緑色1個、白色1個）は廃棄しないでください。

取扱説明書（本書）・・・・・・・・・・・1冊　**かんたん取り付けガイド・・・・・・・・・1部**

※記録紙は付属していませんので、お買い求めください（☞ 135ページ）。

お知らせ

●この製品は、厳重な品質管理と検査を経て出荷しておりますが、万一不具合がありましたら、お買いあげの販売店またはもよりのシャープお客様ご相談窓口（☞ 152ページ）までご連絡ください。
●お客様または第三者がこの製品の使用を誤り、使用中に生じた故障、その他の不具合またはこの製品の使用によって受けられた損害については、法令上賠償責任が認められる場合を除き、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。
●この製品は使用誤りや静電気・電気的ノイズの影響を受けたとき、また故障・修理のときは記憶内容が変化・消失する場合があります。

ご使用の前に知っていただきたいこと

ご使用にあたってのお願い

この製品のご使用にあたって、NTT のレンタル電話機が不要となる場合は、NTT へご連絡ください。ご連絡いただいた日をもって、**「機器使用料」は、不要** となります。
詳しくは、**局番なしの 116 番（無料）** へお問い合わせください。

この製品を使用できるのは、日本国内のみです。規格などが異なるため海外では使用できません。
This facsimile is designed for use in Japan only and cannot be used in any other country.

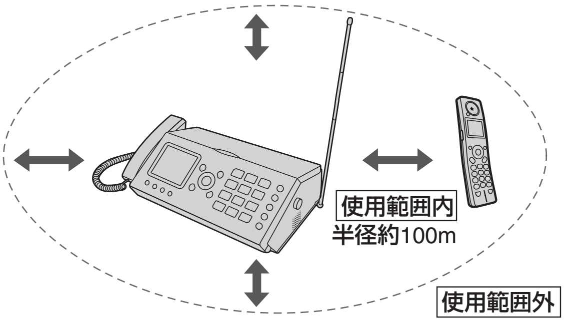
この装置について

- この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

本機の取り扱いについて

■ 使用範囲を確かめる

子機と親機間の電波の届く距離は、周囲の環境によっても異なりますが、直線見通し距離で半径約100mです（アンテナを伸ばした状態）。
内線通話（☞41ページ）しながら子機を持って移動し、通話ができる範囲をお確かめください。



子機間でのトランシーバー方式内線通話は親機を経由して行います。子機と子機が近くても、親機から離れすぎると通話できなくなります。

■ 子機はいつも充電器に戻しておく

子機は使わないときも、充電器に戻しておいてください。充電のしすぎによって、故障することはありません。正常に充電されるよう子機を充電器に確実に戻してください。

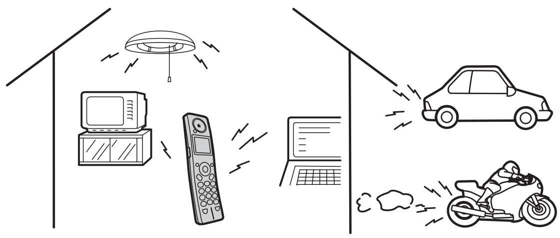
■ 親機と子機の間に障害物のある場所で使わない

マンションなど鉄筋コンクリートの建物内や構造に金属が使われている住宅や大型の金属製家具の近くなどは、電波の届く距離が短くなることがあります。



■ 子機に雑音が入ることがあります

自動車やオートバイが近くを通ったときや、蛍光灯のスイッチを「入」「切」したとき、電波干渉を受けたときなど、雑音が入ることがあります。
また、子機で通話していると、切れてしまうことがあります。

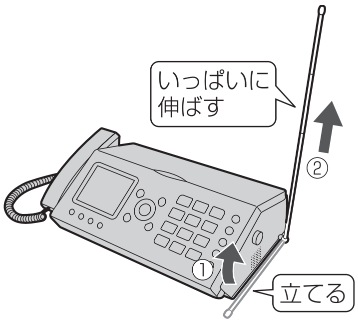


■ “傍受”にご注意ください

この商品は盗聴防止スクランブル機能を搭載していません。
コードレス子機を使っての通話は、電波を利用していますので第三者が故意または偶然に受信することも考えられます。
機密を要する重要な通話には、親機のご利用をおすすめします。
傍受（ぼうじゅ）とは、無線連絡の内容を第三者が別の受信機で故意または偶然に受信することです。

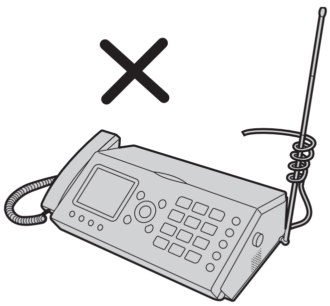
■ 親機のアンテナは、立てていっぱいに伸ばす

電波の届く距離が短かったり、雑音が入ることがありますので、親機のアンテナは、必ず立てて、いっぱいに伸ばしてください。



■ アンテナにコードを巻き付けない

親機の電源コードや電話機コード､充電器の電源コードをアンテナに巻き付けないでください。
着信時に子機の着信音が鳴らなくなったり、通話時に雑音が入ったりすることがあります。また、アンテナが破損する原因となります。

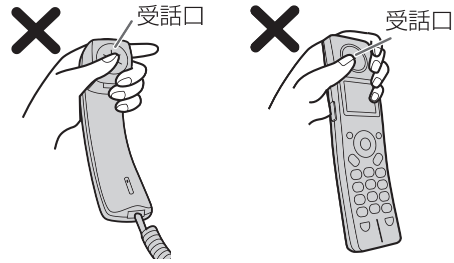


■ 子機の着信音は、遅れて鳴ります

電話がかかってくると､はじめに親機の着信音が鳴って、そのあと、少し遅れて子機の着信音も鳴ります。

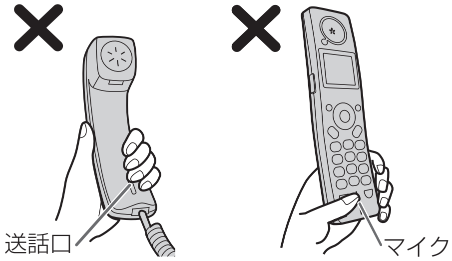
■ 受話口やスピーカーの穴をふさがない

受話口やスピーカーの穴をふさぐと音が聞こえにくくなります。



■ 送話口（マイク）をふさがない

こちらの声が相手の方に聞こえにくくなります。



■ 取り扱いについて

ご近所で子機（コードレス電話機）が使われているときは、正しく動作しないことがあります。
こんなときは、一時的に親機をお使いください。

■ 本機を設置するときは

パソコンの無線LAN機器などが近くにあると、雑音が入ったり正しく動作しなくなることがありますので、できるだけ離して設置してください。
また、子機は、親機や他の増設子機、PHS／携帯電話の充電器、その他の電気製品などからできるだけ離して設置してください。着信音が鳴らなくなることがあります。

■ クイック通話は設定されていません

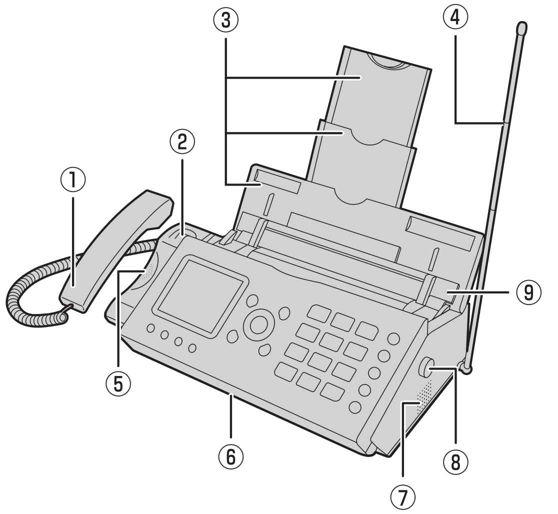
クイック通話とは、子機を充電器から取り上げるだけで、通話ボタンを押さなくても電話を受けることができる機能です。
お買いあげ時には、クイック通話は設定されていません。設定のしかたは93ページをごらんください。

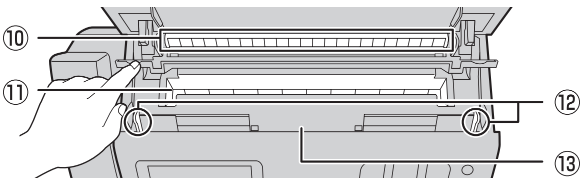
■ 使用中に温かくなることがあります

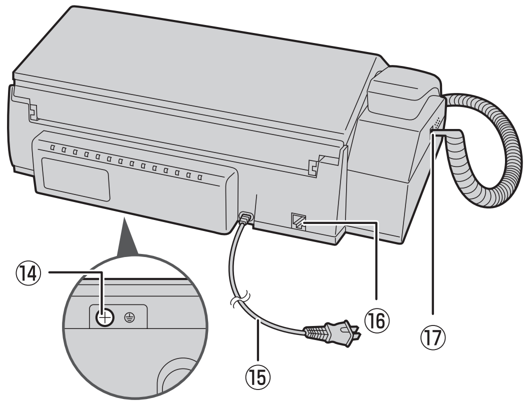
親機の背面や側面、充電中の子機が少し温かくなることがありあますが、故障ではありません。

各部の名前とはたらき（親機）

各部の名前



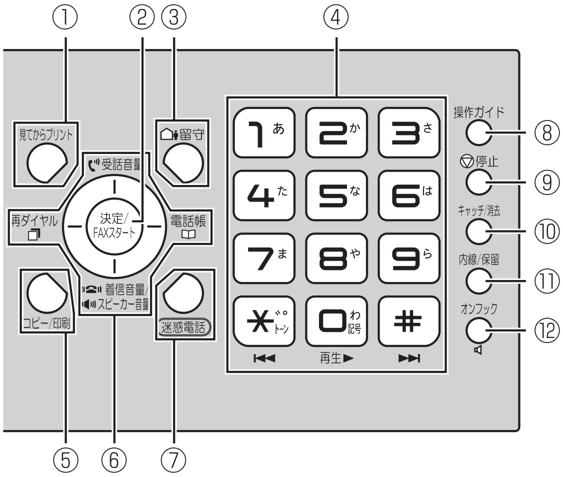




①	**受話器・受話器コード**
②	**フックスイッチ**
③	**記録紙トレイ・延長トレイ** 記録紙や原稿をセットするときに開き、延長トレイを伸ばして使います。
④	**アンテナ**
⑤	**通気孔**
⑥	**原稿排出口** 原稿がここから出てきます。
⑦	**スピーカー** 録音を再生しているときや、オンフックボタンを押して受話専用にしているときは、ここから聞こえます。
⑧	**操作パネル解除ボタン** 操作パネルを開けるときに押します。
⑨	**記録紙押さえ** セットした記録紙を押さえます。

⑩	**記録紙挿入口** ここに記録紙をセットします。
⑪	**記録紙排出口** 記録紙がここから出てきます。
⑫	**原稿ガイド（左右2か所）** 原稿の幅に合わせます。
⑬	**原稿挿入口** ここに原稿をセットします。
⑭	**アース端子** 本体の底面にあります。
⑮	**電源コード・差し込みプラグ**
⑯	**回線接続端子（回線差込口）** 電話機コードを差し込みます。
⑰	**受話器接続端子** 受話器コードを接続します。

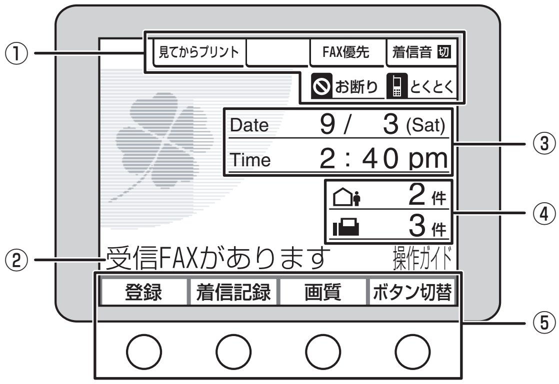
操作パネル



①	見てからプリント	**見てからプリントボタン** 受信したファクスをディスプレイに表示させるときに使います（☞81ページ）。
②	決定/FAXスタート	**決定／FAXスタートボタン** 選択や入力した内容の決定、ファクスの送受信に使います。
③	留守	**留守ボタン** 留守番電話の設定や解除に使います（☞61、63ページ）。
④	1あ 〜 #	**ダイヤルボタン** 電話をかけるときや、文字入力、登録操作を行うときに使います。 また、次の機能を兼用しています。
	＊トーン	・録音再生中に聞き直す（☞64ページ） ・プッシュホンを利用する（☞100ページ）
	#	・録音再生中に次の録音へ送る（☞64ページ）
	0わ記号 再生▶	・録音内容を再生する（☞64ページ）
⑤	コピー/印刷	**コピー／印刷ボタン** コピーするとき（☞71ページ）、見てからプリント機能でプリントするとき（☞84ページ）に使います。
⑥		**マルチファンクションキー** 各種の項目を選ぶときや、ディスプレイに表示した画像を動かすときに使います。 上を押すときは ◯ 、左右いずれかを押すときは ◯ のように、略図を使って表記しています。 また、次の機能を兼用しています。
	受話音量	・受話音量を変える（☞31ページ）
	着信音量/スピーカー音量	・着信音量を変える（☞29ページ） ・スピーカー音量を変える（☞31ページ）
	再ダイヤル	・以前にかけた相手先へかけ直す（☞35ページ） ・電話番号の登録時に待ち時間（ポーズ）を入れる（☞49ページ）
	電話帳	・電話帳から電話をかける（☞36ページ）
⑦	迷惑電話	**迷惑電話ボタン（☞112ページ）** 迷惑電話をお断りするときに使います。
⑧	操作ガイド	**操作ガイドボタン** ファクス送受信などの基本的な操作や、エラーの解除方法などを表示するときに使います（☞12ページ）。
⑨	停止	**停止ボタン** 操作や送信を途中で止めるときに使います。
⑩	キャッチ/消去	**キャッチ／消去ボタン** いろいろな消去をするときに使います。また、キャッチホンを利用するときに使います（☞101ページ）。
⑪	内線/保留	**内線／保留ボタン** 内線通話（☞41ページ）や通話の保留（☞40ページ）をするときに使います。
⑫	オンフック	**オンフックボタン** 受話器を置いたままダイヤルするときに使います。

ディスプレイ表示

待受画面（通話や操作などをしていないとき）では下記のように表示します。
約３分間、何も操作をしないと、節電のため、ディスプレイ表示は自動的に消えます（メッセージがあるときは、バックライトのみが消灯します）。いずれかのボタンを押すと、ふたたび通常の表示に戻ります。



①	**設定状態表示** 見てからプリント **または** メモリー受信 **、** 記録紙受信 ファクス受信方法の設定（☞90ページ）を表示します。 FAX優先 **または** FAX専用 FAX優先またはFAX専用に設定されているときに表示します（☞80ページ）。 着信音 切 着信音を鳴らさない設定のときに表示します。 お断り 各種の着信お断り機能（☞110～113ページ）が設定されているときに表示します。 とくとく 携帯とくとくダイヤル機能（☞85～86ページ）が設定されているときに表示します。
②	**エラー／メッセージ表示** 各種のメッセージを表示します。
③	**日付・時刻表示** 日付・時刻を表示します。
④	**メモリー表示** **（留守録音件数表示）** 留守録音やメモ録音の件数を表示します。 **（メモリー受信件数表示）** メモリー受信しているファクスの件数を表示します。
⑤	**ソフトボタン名表示／ソフトボタン** ここには、「登録」や「着信記録」のように、そのとき使用できる機能の名称が表示されます。 表示の下のソフトボタン（ ◯ ）を押すと、その機能を使用できます。 ソフトボタンを使った操作は、以下のように表記しています。 例：「登録」という画面表示の下の ◯ を押す→ **◯（登録）を押す** また、◯（ボタン切替）を押すと、ソフトボタンがワンタッチダイヤルボタンに切り替わり、かんたんに電話をかけることができます（☞59ページ）。

■ 液晶濃度調節

液晶ディスプレイの表示濃度を調節することができます。

① ◯（登録） 8ゃ 1ぁ と押す

② ◯ で濃度を調節する



③ 決定/FAXスタート を押す

④ 停止 を押す

操作ガイドを使う

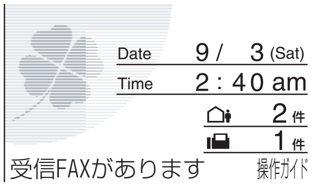
操作ガイド ◯ を押すと、基本的なファクスの送受信の方法やエラー表示についての説明がディスプレイに表示されます。

■ 操作ガイドの目次画面

液晶操作ガイド
知りたい項目を選んで［決定］を押してください
①ファクスを送るとき
②ファクスを受けるとき
③子機でファクスを受けるには
④「受信FAXがあります」
⑤受信FAXを印刷する
⑥コピーをする
⑦エラー表示のとき
⑧交換用インクリボンの型番

- ①②③ファクスの基本的な送受信操作
- ④⑤受信データの確認／プリント操作
- ⑥コピーの操作
- ⑦エラー対応
- ⑧交換用インクリボンのご案内

■ 画面にメッセージが表示されているときは



図のように、待受画面にメッセージが表示されているときに 操作ガイド ◯ を押すと、対応を案内する操作ガイドが表示されます。目次画面を表示したいときは◯（目次へ）を押してください。
メッセージが表示されていないときに 操作ガイド ◯ を押すと、目次画面から表示します。

■ 操作ガイドで使用するボタン

◯ ：項目の選択

決定/FAXスタート ：項目の決定

◯（次ページ）：次の画面を表示

◯（前ページ）：ひとつ前の画面を表示

◯（目次へ）：目次画面を表示

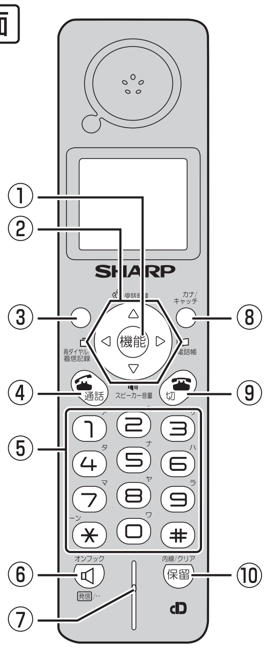
◯（中止）：操作ガイドの表示をやめる

◯（おわり）：操作ガイドの表示をやめる

各部の名前とはたらき（子機）

各部の名前

前面

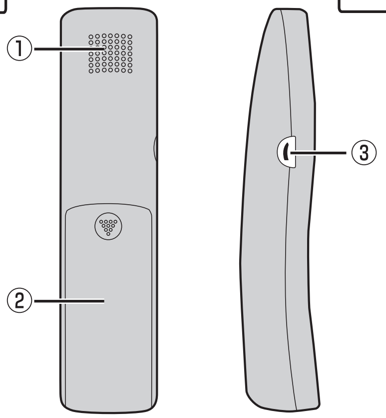


①	機能	**機能（ファクス）ボタン** 登録の操作や、ファクスを送受信（☞76、78ページ）するときに使います。
②		**マルチファンクションキー** 電話帳で相手の方を選ぶときや、登録操作をするときに使います。 また、次の機能を兼用しています。
	受話音量	・受話音量を変える（☞31ページ）
	スピーカー音量	・スピーカー音量を変える（☞31ページ）
	再ダイヤル/着信記録	・以前にかけた相手先へかけ直す（☞35ページ） ・電話番号の登録時に待ち時間（ポーズ）を入れる（☞53ページ） ・着信記録を表示する（☞104ページ）
	電話帳	・電話帳に登録する（☞53ページ） ・電話帳から電話をかける（☞37ページ）

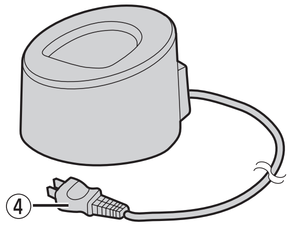
③	ワンタッチダイヤル	**ワンタッチダイヤルボタン** 簡単に電話をかけたいときに使います（☞60ページ）。
④	通話	**通話ボタン** 電話をするときに使います（☞34、38ページ）。
⑤	1 ア ～ #	**ダイヤルボタン** 電話をかけるときや、文字を入力するときに使います。また、次の機能を兼用しています。
	5 ナ	・録音再生中に聞き直す（☞64ページ）
	6 ハ	・録音再生中に次の録音へ送る（☞64ページ）
	9 ラ	・録音再生中に早聞きする（☞64ページ）
	トーン ＊	・プッシュホンを利用する（☞100ページ）
	※ダイヤルボタンは点灯しません。	
⑥	オンフック 発信/ﾟ。	**オンフックボタン** 受話器を置いたままダイヤルするときに使います。
⑦	**マイク** 相手の方とお話しするときに使います。	
⑧	カナ/キャッチ	**カナ／キャッチボタン** 文字の入力モードを切り替えるときに使います（☞55ページ）。 また、キャッチホンを利用するときに使います（☞101ページ）。
⑨	切	**切ボタン** 通話や各種の登録操作をやめるときに使います。
⑩	内線/クリア 保留	**保留/内線/クリアボタン** 保留（☞40ページ）や内線通話（☞41ページ）をするときに使います。 また、入力した文字を消す（☞55ページ）ときにも使います。

点灯するボタンは 通話 と 切 のみです。

背面 **左側面**

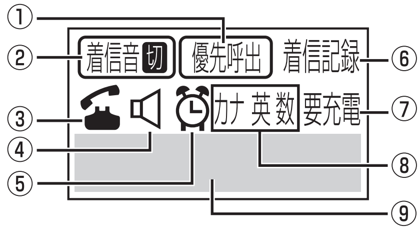


充電器



①	**スピーカー** 留守録音の再生などがここから聞こえます。
②	**充電池ふた**
③	**トランシーバーボタン** 子機間で内線通話（トランシーバー方式）をするときに使います（☞42、45ページ）。
④	**電源プラグ** コンセントに差し込みます。

ディスプレイ表示

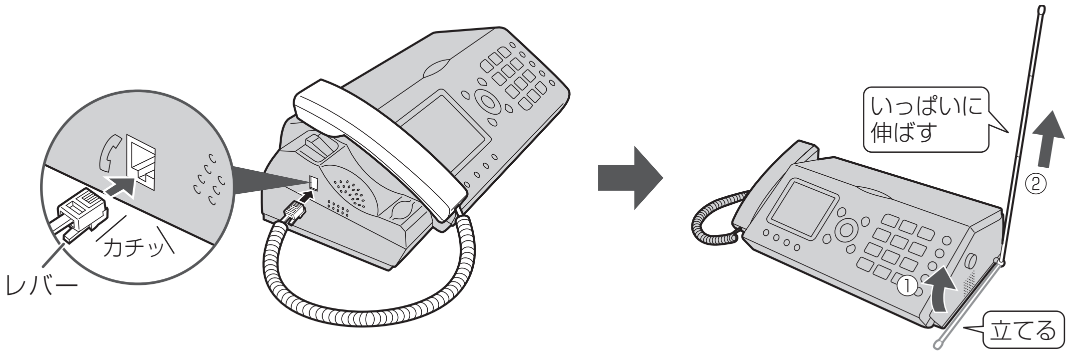


①	優先呼出を設定しているときに表示します。
②	着信音を「キリ」に設定しているときに表示します。
③	通話中などに表示します。
④	オンフック中に表示します。
⑤	アラームを設定しているときに表示します。
⑥	着信記録の確認中に表示します。
⑦	充電池の残量が不足しているときに表示します。
⑧	文字の入力モードを表示します。
⑨	電話番号、現在時刻、電話帳、通話時間などを表示します。

※ 図は説明用です。すべて一度に表示されることはありません。

親機を接続する

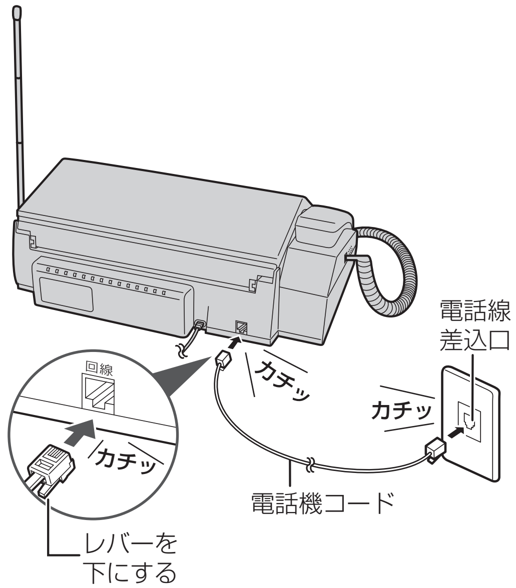
1 受話器を取り付け、アンテナを伸ばす



・「カチッ」と音がするまでしっかり差し込みます。
　外すときは、レバーを押さえながら抜き取ります。

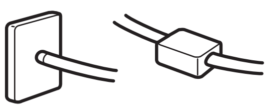
2 電話機コードを接続する

・ ADSLなどをお使いの場合は接続方法が異なりますので、19～20ページをご覧ください。

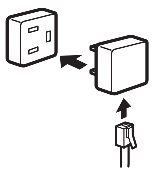


コンセントのタイプについて

直接配線（ローゼット／プレート）の場合、資格者の工事が必要です。



３ピンプラグ式コンセントの場合、市販のアダプターをお買い求めいただくか、資格者の工事が必要です。



資格者の工事については、最寄りのNTTにご相談ください。

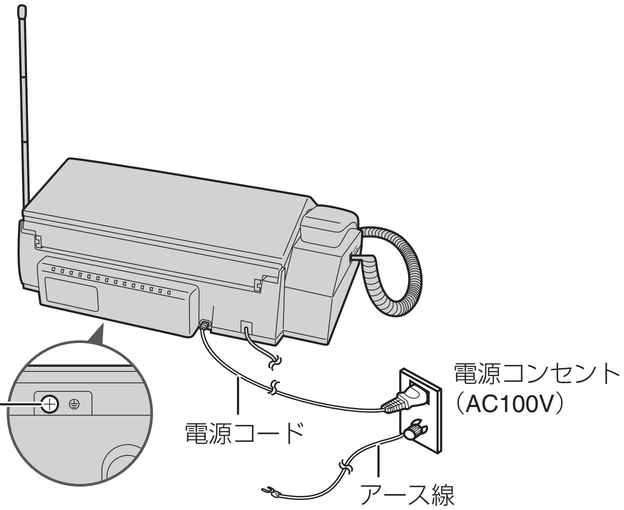
・ 必ず先に電話機コードを接続してください。電源コードを先に接続すると、手順８（☞17ページ）で回線種別が正しく設定されません。

次ページへ→

→つづき

3 電源コードを接続する

アース端子（本体の底面にあります）
万一、漏電した場合の感電事故防止のためのアース線を底面のアース端子へネジ止めします。
アース線は、付属しておりませんので市販のものをご購入ください。



4 電源が入り、「日付・時刻を設定してください。……」と表示されたら (決定/FAXスタート) を押す

```
日付・時刻を設定して
ください。[決定]で
設定に入ります。
```

5 ダイヤルボタンで日付を入れる。

```
      <日付・時刻>
日付 05-09-03
時刻 00:00
  年は西暦の下2桁
  時刻は24時間制
```

例： [0][5]　[0][9]　[0][3]
　　2005年　9月　3日

●数字を入れまちがえたときは、◯(取消)を押して、もう一度入れ直します。
●年は西暦年の下２桁を入れます。
【年入力】 2005年 ⇒ 05
　　　　　　～
　　　　　2048年 ⇒ 48

・ファクスを送ったとき、相手側の記録紙に日付と時刻、曜日がプリントされます。

6 ダイヤルボタンで時刻を入れる

```
      <日付・時刻>
日付 05-09-03
時刻 14:40
  年は西暦の下2桁
  時刻は24時間制
```

時刻は24時間制で入れます。

例： [1][4]　[4][0]
　　午後２時　４０分

次ページへ→

→つづき

7 （決定/FAXスタート）を押す

・日付・時刻が設定されていないときは、待受画面の日付・時刻の表示が点滅しています。親機の接続時に設定できなかったときは、「日付・時刻を設定し直すときは」（☞下記）の操作で設定してください。

8 電話回線が自動的に設定される

・10PPSの回線を使われているときは、手動で設定してください（☞18ページ）。

●「回線種別選択」と表示されたときは

回線の状態によって自動的に設定できないことがあります。

［1あ］～［3さ］で回線を選んでください。

20PPSをお使いのとき	▶ ［1あ］
トーン（プッシュホン）をお使いのとき	▶ ［2か］
10PPSをお使いのとき	▶ ［3さ］

回線種別が合っていないと電話をかけられなかったり、ちがう相手にかかったりすることがあります。

回線種別とは…

電話回線の種類にはダイヤル回線（20PPS、10PPS）とプッシュホン回線（トーン）とがあります。
回線の種類が正しく合っていないと電話をかけることができません。
（利用している回線の種類は、NTTとの契約によります。）

■ 回線の種類がわからないときは（☞18ページ）

■ 回線を手動で設定するときは（☞18ページ）

■ 日付・時刻を設定し直すときは

① ◯（登録）［1あ］［1あ］と押す

② ダイヤルボタンで日付・時刻を入力する

（☞「親機を接続する」手順5～7）

③ （停止）を押す

お知らせ

●時刻表示は、めやすとしてご利用ください。なお、誤差が生じた場合は設定をやり直してください。（時計精度：平均月差±60秒以内）

●日付を設定すると、曜日は自動的に設定されます。年月日・時刻・曜日は送信したファクスにプリントされます。

●以下の場合は、回線種別が正しく設定されないことがありますので、ご契約の回線種別をお確かめのうえ、設定し直してください（☞18ページ）。

・IP電話（インターネットサービスを使った電話）サービスをご利用のとき

・構内交換機（PBX）、ビジネスホン、ホームテレホンをご利用のとき

●電源を入れると、親機の底面等が部分的にあたたかくなりますが、故障ではありません。

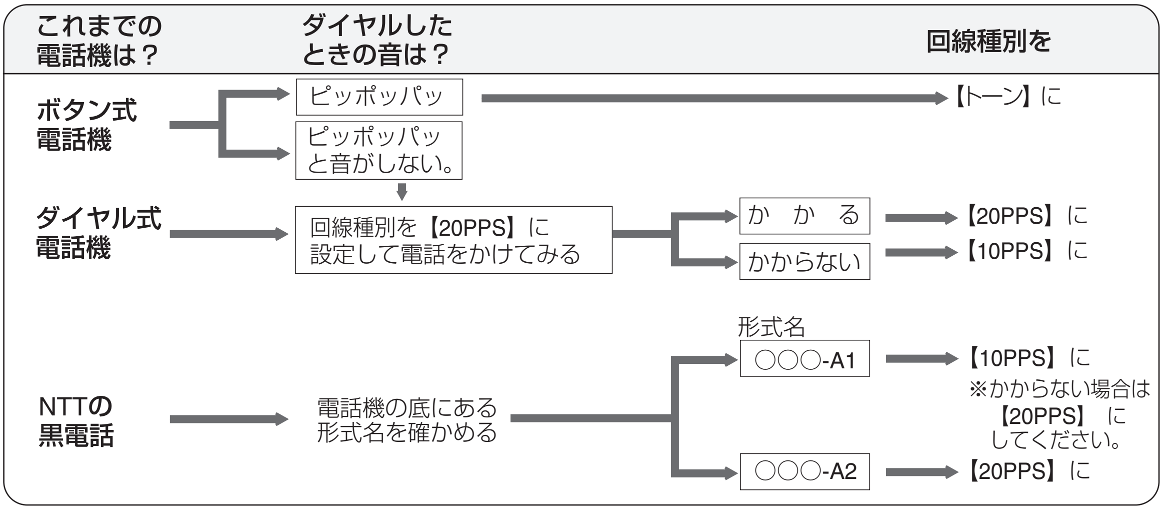
●電源コードと電話機コードはできるだけ離して設置してください。雑音が入ることがあります。

回線種別を合わせる（変える）ときは

回線種別を親機が自動的に設定できなかったときや、電話がかからないときは、回線種別が正しく設定されていないことがあります。もう一度、回線種別を設定し直してください。
また、10PPS回線をご利用の方も、この設定で10PPSに設定を変えてからお使いください。

20PPSに設定するときは	○(登録) ▶ 1 4 1 ▶ 停止○
トーン（プッシュホン）に設定するときは	○(登録) ▶ 1 4 2 ▶ 停止○
10PPSに設定するときは	○(登録) ▶ 1 4 3 ▶ 停止○
もう一度自動で回線種別を設定するときは	○(登録) ▶ 1 4 4 ▶ 停止○

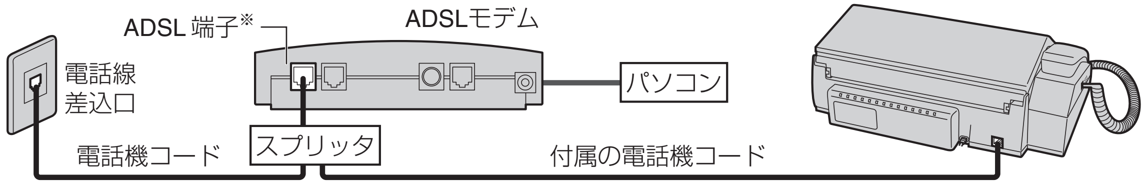
●回線の種類がわからないときは
回線の種類は、次の方法で調べることができます。もし、わからないときは、最寄りのNTT支店、営業所にお問い合わせください。



お知らせ
●受話器を取った状態や、オンフックボタンを押した状態で、回線種別を変えることはできません。

いろいろな接続

ADSL回線に接続するとき

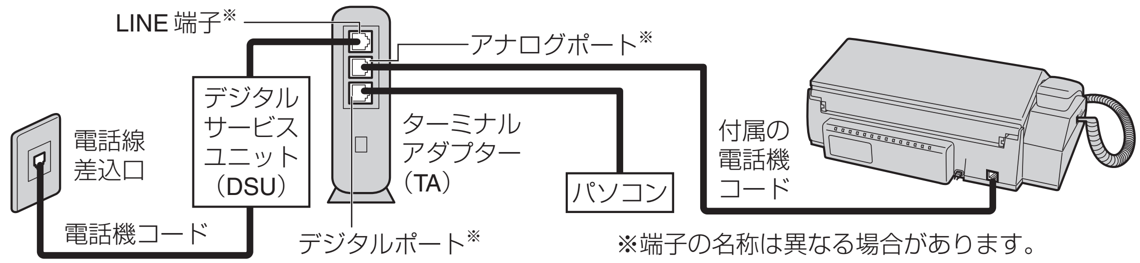


※端子の名称は異なる場合があります。

ADSLを利用するには、ADSL各サービス会社への申し込みが必要です。

- ●ADSLには加入電話と共有するタイプ（タイプ1）と共有しないタイプ（タイプ2）があります。タイプ2のときは、基本的には本機をお使いになれませんが、IP電話のサービスによってはお使いになれる場合もあります。
- ●本商品の回線種別はご契約の回線種別に設定してください。

ISDN回線に接続するとき



※端子の名称は異なる場合があります。

■接続後は、回線種別を「トーン」に設定してください。（☞ 18ページ）

ISDN回線を利用するには、NTTへの申し込みが必要です。

- ●ターミナルアダプターとISDN回線間の接続には、デジタルサービスユニット（DSU）が必要です。なお、ターミナルアダプターによっては、DSUが内蔵されている機種もあります。詳しくはターミナルアダプターの説明書をご覧ください。
- ●ナンバー・ディスプレイやネーム・ディスプレイを利用するときは、ナンバー・ディスプレイまたはネーム・ディスプレイ対応のターミナルアダプターを使用してください。対応状況は、お使いのTAメーカーにお問い合わせください。
- ●ナンバー・ディスプレイに対応していないターミナルアダプターをお使いのときは、本商品のナンバー・ディスプレイの利用設定を「使用しない」に設定してください。（☞ 102ページ）
- ●ターミナルアダプターによって電話の音量が大きくなりすぎる場合があります。こんなときは「TA 対応」の設定を変更してください。（☞ 139ページ）

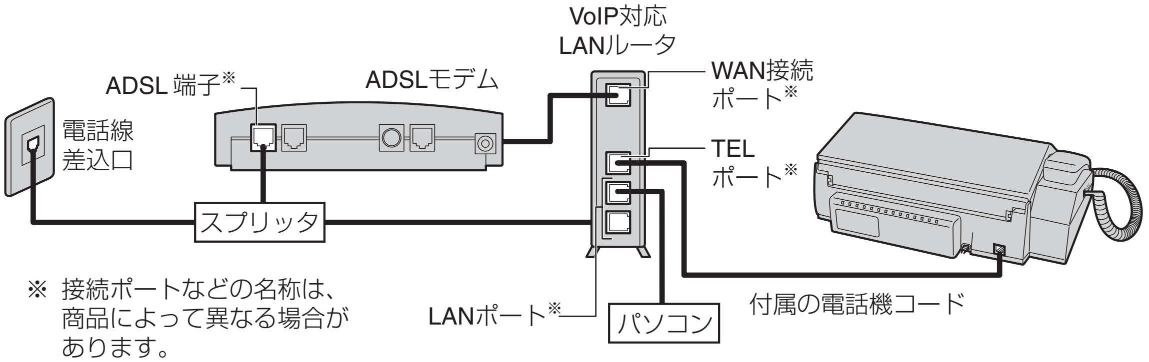
お知らせ

一般回線やISDNからADSLに変更した場合、サービス会社や接続条件によっては、次のようになります。

- ●FAXが送受信できなくなったり、電話にノイズが入ったりすること等があります。その場合は、各ADSLサービス会社にご相談ください。また、NTTを選択して送信するとエラーにならないことがあります。
- ●電話番号を通知するように選択されていても、携帯電話、PHSに発信した場合は、非通知になることがあります。
  通知したいときは、NTTを選択して発信してください。（NTT網で発信する方法はADSLのサービス提供会社にご確認ください。）
- ●発信時、局番の頭に0000、0120、0570、0990等をつけた場合、また110、119、177、117、186、184、122等の番号にかけたとき、かからない（つながらない）などといった現象が発生することがあります。このときは、契約されている回線種別と機器の回線設定を確認し、手動で設定しなおしてください。（☞ 18ページ）
- ●ADSLをご利用のときは、電話の音量が大きくなりすぎる場合があります。こんなときは「TA対応」の設定を変更してください。（☞ 139ページ）

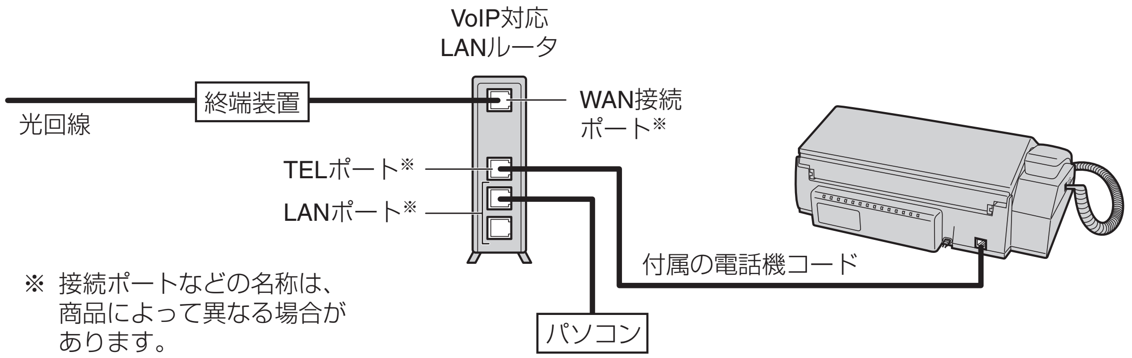
IP電話をご利用のとき

基本的には、IP電話会社から提供される「IP電話対応モデム」や「アダプタ」（会社によって名称は異なります）に設けられている「電話機用」の差込口に接続すればお使いになれます。ただし、本機はIP電話に接続してお使いになることを前提として設計したものではありませんので､完全な動作を保証するものではありません。
接続のしかたやファクスをつないだときの動作などについて、くわしくは、IP電話サービスを提供している会社のパンフレットやホームページなどをご確認ください。



※ 接続ポートなどの名称は、商品によって異なる場合があります。

光回線（光電話）をご利用のとき

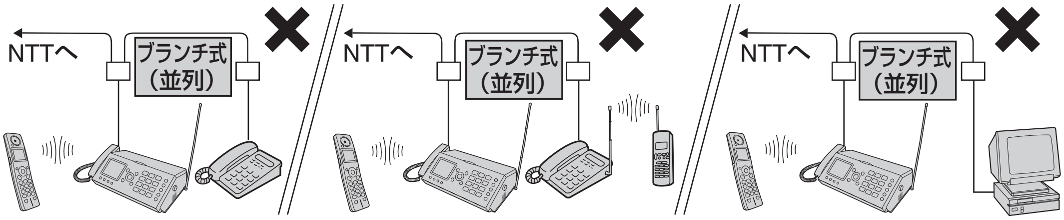


※ 接続ポートなどの名称は、商品によって異なる場合があります。

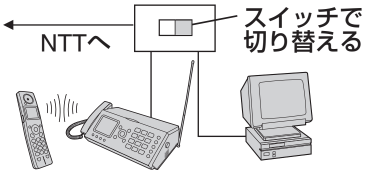
その他の接続について

■ **ブランチ式（並列）に接続しない**

● 下図のように、一つの電話回線を２つ以上に分けて並列に接続しないでください。共鳴したり、正常に機能が動作しなくなったりすることがあります。また、他のコードレス電話機と並列に接続すると、電波が干渉し合って子機の着信音が鳴らないことがあります。同様にパソコン等を並列に接続しないでください。パソコンを並列に接続すると、パソコンでメールやインターネットをお使いのとき伝送速度が遅くなることがあります。



● パソコン等を接続する場合は、市販の電話回線切替器を接続すれば、一つの電話回線を切り替えて使用できます。



■ **構内交換機（PBX）やビジネスホン、ホームテレホンへの接続について**

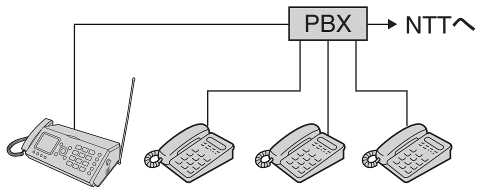
● 構内交換機(PBX)やビジネスホン、ホームテレホンなどへ接続する場合は工事が必要です。

● お使いになるホームテレホンや交換機などの機種によって接続方法が異なります。

● 構内交換機(PBX)やビジネスホン、ホームテレホンに接続した場合、機種によってはナンバー・ディスプレイをご利用になれない場合があります。ご利用になれない場合は、ナンバー・ディスプレイの設定を「使用しない」にしてお使いください。（☞102ページ）

● 構内交換機 (PBX) やビジネスホン、ホームテレホンに接続した場合、本商品以外の電話機で受けたあとファクスに切り替えることができないことがあります。

構内交換機(PBX)の場合

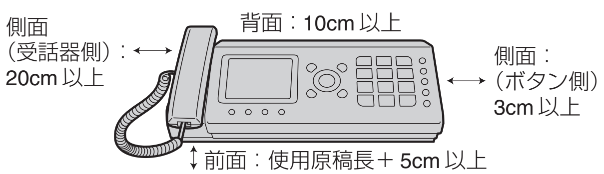


● **ホームテレホンとは**
電話回線１本で複数の電話機を設置できて、内線通話などもできる家庭用の簡易交換機です。

● **ビジネスホンとは**
電話回線を２本以上持っていて、その回線を多くの電話機で共有できる、内線通話なども可能な簡易交換機です。

■ **設置について**

本商品の操作、消耗品の交換、日常点検など、本商品を正しく使用し機能を維持する作業を行うために、右図のような設置スペースを確保してください。



インクリボンを確認する／交換する

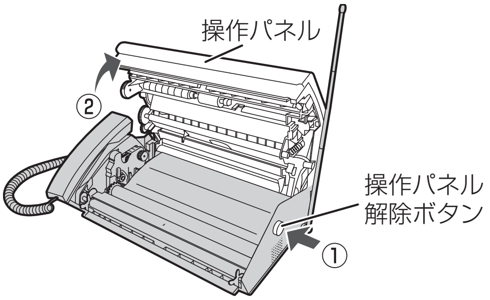
インクリボンを確認する

はじめてお使いになるときは、あらかじめ親機にセットされているインクリボンを確認し、たるみを取る操作をしてください。
セットされているインクリボンは、工場出荷時に正しくプリントできることを確認したものです。別売のインクリボンよりもプリントできる枚数が少なくなっておりますので（A4サイズで、約20枚印刷可能）、お早めに別売インクリボンをお買い求めください。

インクリボンは、当社推奨品をお使いください。**（☞135ページ）**
UX-NR5A4（30m×1本）UX-NR5A4W（30m×2本）
30mでA4原稿を通常使用で約100枚プリントすることができます。50mのものは使用できません。
（ご注文は、お買いあげの販売店へお申し付けください。）

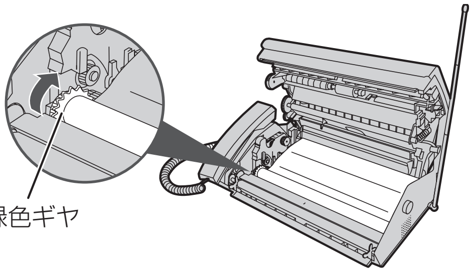
記録紙をセットしているときは、記録紙を取り出してから操作します。

1 **操作パネル解除ボタンを押して操作パネルを開ける**



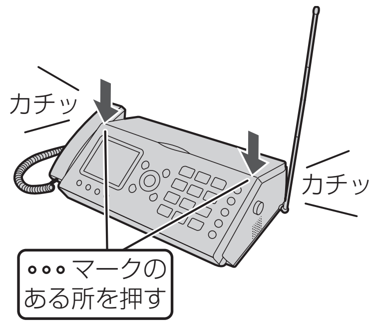
・操作パネルをいっぱいに開けるととまります。

2 **緑色ギヤを矢印の方向へ2～3回まわしてインクリボンのたるみを取る**



・インクリボンの上にラベルが貼られているときは、貼っているラベルがかくれるまで巻き取ってください。

3 **操作パネルを閉める**



・手をはさまないように、注意してゆっくり閉めてください。

インクリボンを交換する

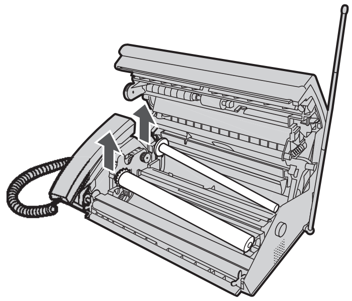
使用済みのインクリボンは、下記の手順で交換してください。

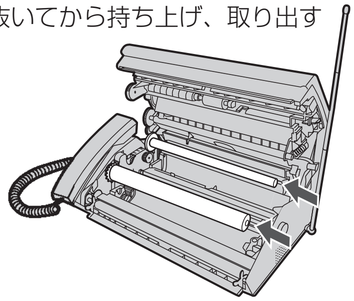
「操作ガイド」の機能を使って、インクリボンの交換方法の手順を表示させることができます（☞12ページ）。

記録紙をセットしているときは、記録紙を取り出してから操作します。

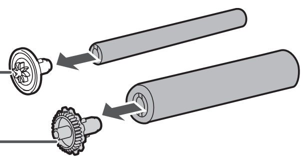
1 操作パネル解除ボタンを押して操作パネルを開ける

2 使用済みのインクリボンを取り出す



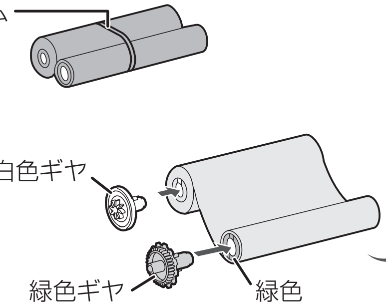


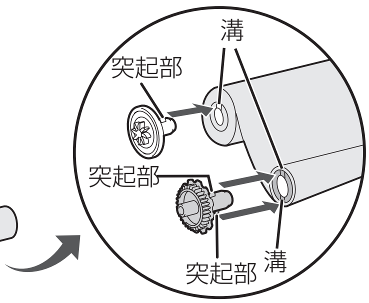
3 インクリボンから緑色ギヤと白色ギヤを取り外す



・取り外したギヤは廃棄しないでください。

4 新しいインクリボンに緑色ギヤと白色ギヤを差し込む





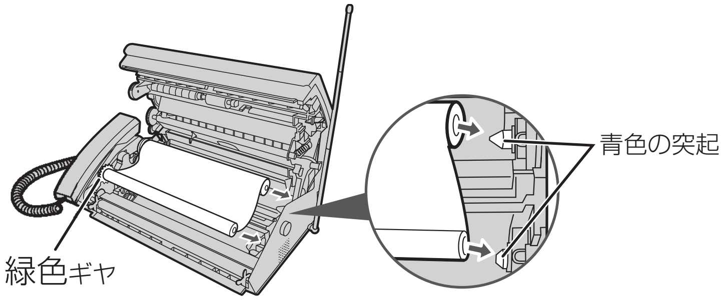
・ギヤの突起部分をインクリボンの溝にしっかりと合わせてください。

次ページへ→

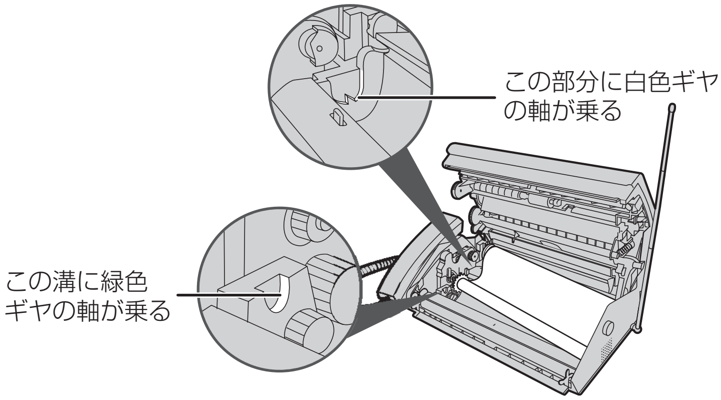
→つづき

5 白色ギヤを左側奥へ、緑色ギヤを左側手前に取り付ける

① 右側の青色の突起にインクリボンの芯を差し込みます。

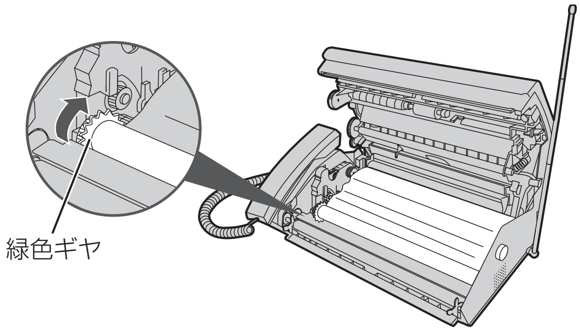


② 左側の溝にギアの軸が入るように置きます。



6 緑色ギヤを矢印の方向へ2～3回まわしてインクリボンのたるみを取る

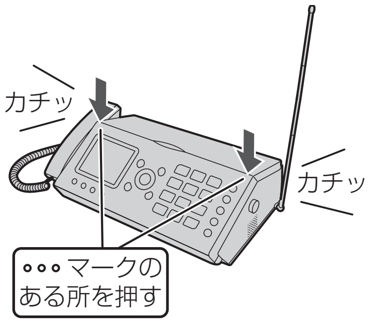
・インクリボンの上にラベルが貼られているときは、貼っているラベルがかくれるまで巻き取ってください。



次ページへ→

→つづき

7 操作パネルを閉める



・「記録紙/インクリボン確認」の表示が約10秒以上たっても消えないときは、インクリボンがたるんでいます。こんなときは、もう一度操作パネルを開けて、インクリボンのたるみを取ってください。
・インクリボンを交換したあとは、「インクリボンの使用量を確かめるときは」(☞下記）の「使用量を消去する（0メートルに戻す）ときは」の操作で、インクリボン使用量の数値を0メートルに戻してください。

■ インクリボンの使用量を確かめるときは

現在のインクリボン使用量を確認できます。
インクリボンを交換したあとは、使用量を0メートルに戻してください。

使用量を確かめるときは

① ◯(登録) [8] [2] [3] と押す
② [1] を押す（0〜99メートルの範囲で使用量を表示します）
③ ◯(停止) を押す

使用量を消去する（0メートルに戻す）ときは

① ◯(登録) [8] [2] [3] と押す
② [2] [2] と押す
③ ◯(停止) を押す

■ 使用済インクリボンの取り扱いについて

●ご使用済みのインクリボンにはコピーや受信したファクスの内容がフィルム上に白く残っています。コピーや受信した内容を他の人に見られたくないときは、ハサミなどで切り刻んでから、お捨てください。
●ご使用済みのインクリボンは「燃えないゴミ」としてお捨てください。
(地域によっては、インクリボンのフィルムは「燃えるゴミ」として取り扱われている場合もあります。)
・インクリボンのフィルムは、ポリエチレン、カーボン、パラフィンなどでできています。
・インクリボンの芯は紙、ポリスチレンでできています。

お知らせ

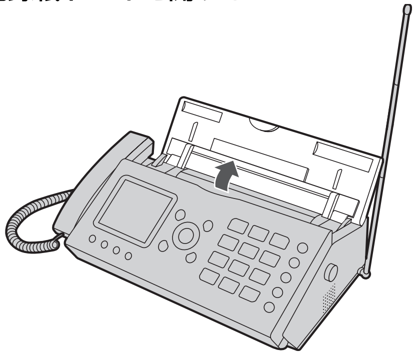
●インクリボンは必ず当社推奨品をお使いください（☞135ページ）。当社推奨品以外のインクリボンをご使用になると、故障や印刷かすれの原因になることがあります。

記録紙をセットする

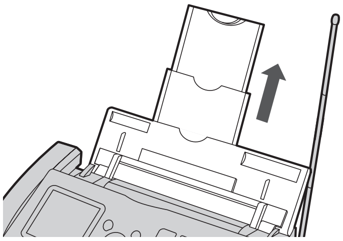
A4サイズの記録紙をセットします。一度に15枚まで、記録紙をセットできます。

記録紙はA4サイズの当社推奨品（☞135ページ）をお買い求めください。
推奨品以外の記録紙やコピー用紙を使用するとプリントがかすれたり、濃く、または薄くなることがあります。
●普通紙（PP110MA4）
ご注文は、お買いあげの販売店へお申し付けください。

1 記録紙トレイを開ける

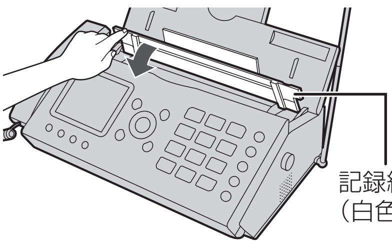


2 延長トレイを引き出す

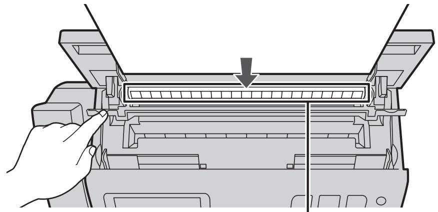


・延長トレイは、図の状態まで伸ばしてください。

3 記録紙押さえを手前に開ける



4 記録紙は、印刷する面を ウラ 向きにし、トレイの緑色の面に沿わせて記録紙挿入口にセットする（一度に15枚まで）



・紙づまり防止のため、記録紙はよくさばいて、先端をそろえてからセットしてください。また、セットするときは強く差し込まないでください。
・記録紙が壁などにあたり、前に傾いていると記録紙がつまることがあります。

■ 記録紙を追加するときは

いったん記録紙を全部抜き取ってから、再度セットしてください。
プリント中は、記録紙を追加しないでください。

■ 記録紙がつまったときは（☞121ページ）

お知らせ

●しわや折り目のあるもの、反っているもの、また破れている記録紙はセットしないでください。記録紙づまりの原因になります。
●長期間、記録紙をセットしたままにしないでください。記録紙が湿気などを含み、劣化する原因になります。劣化した記録紙をそのままお使いになると、記録紙の給紙不良や記録紙づまりなどの原因になることがあります。
●一度使用した裏紙はセットしないでください。

子機を充電する

充電池をセットして子機を充電する

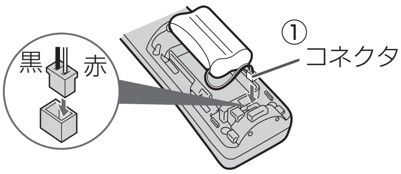
はじめてお使いになるときは、
必ず10時間以上充電してください。

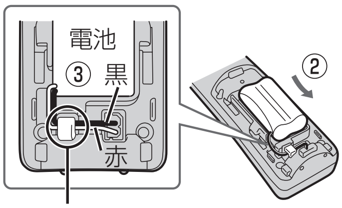
充電池の寿命

使用頻度にもよりますが、約2年程度で使用できなくなります。長時間充電してもすぐに充電池の容量がなくなるときは新しい別売の充電池に交換してください。（別売品／消耗品 ☞ 135ページ）

通話時間について
いっぱいに充電した状態（10時間以上）で通話できる時間は、通話状態で **約6時間** です。
充電容量がなくなると、子機のディスプレイに“要充電”が表示され、“ピッピッ…”と警報音が鳴って約１分後に通話が切れます。このときは、子機を充電器に戻して、約10時間以上充電してください。約10時間以上充電しないと、“要充電”は消えません。

1 充電池のコネクタを接続して充電池を入れる





コードをミゾに通して、内側に寄せる。

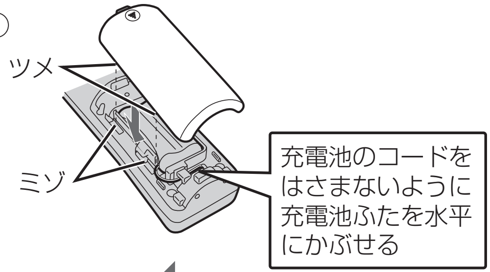
⚠警 告

充電池のビニールカバーをはがしたり、キズをつけないでください。
充電池の液が漏れたり、発熱・破裂させる原因となります。

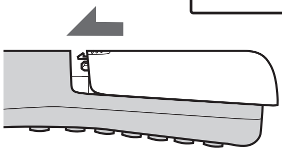
・正しく接続されていないと、充電器に置いたとき、ディスプレイが点滅して充電できません。

2 充電池ふたを取り付ける

①

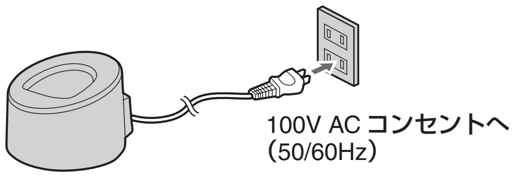


②



充電池ふたをスライドさせて閉める
（「カチッ」と音がするまで）

3 電源コードをコンセントに差し込む



⚠注 意

・充電器の上にコインやクリップなどの金属物を置かないでください。金属物が熱くなることがあり、やけど、けがの原因となります。
・磁気に弱い物を50cm以内に近づけないでください。キャッシュカード、テレホンカード、自動改札定期券、カセットテープ、フロッピーディスクなどは使えなくなることがあります。

4 子機を充電器に置く

お知らせ

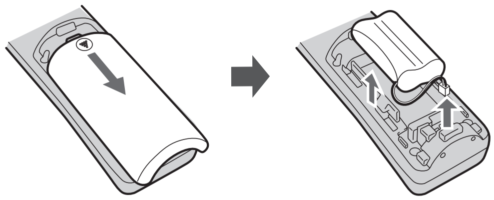
●子機と充電器を設置するときは、親機やPHS／携帯電話の充電器、その他の電気製品などからできるだけ離してください。子機の着信音が鳴らなくなることがあります。
●電磁誘導による無接点充電方式をとっています。AMラジオなどが近くにあると雑音が聞こえることがありますので、向きを変えるか、離してご使用ください。また親機で通話／通信中のときも雑音が入ることがありますので、親機と充電器を 50cm以上 離してください。

充電池を交換する

長時間充電しても、通話できる時間が短くなってきたときは、新しい別売の充電池（☞135ページ）と交換してください。交換のめやすは **２年程度** です。

充電池を交換すると下記の項目の内容が消えたり、初期状態に戻ります。
時刻、アラーム設定、着信音量、受話音量、
再ダイヤル、優先呼出の表示、着信音の種類、
着信鳴り分けの設定、ワンタッチダイヤルの設定、
スピーカー音量

1 充電池ふたを外して、充電池を取り外す



充電池ふたの を押さえながら、ずらします。

充電池のコネクタを外します。

2 新しい充電池を入れる

・「充電池をセットして子機を充電する」（☞27ページ）をご覧ください。

■ **充電池について**

●充電池は使わないで放置しておいても自己放電します。
このため、新しい充電池でもはじめから容量が少なくなっていたり、全くないこともあります。
これは、充電池の不良ではありません。
●充電池をはじめて使うときや、長時間使わなかったときは、必ず充電してください。
●充電池が自己放電したときは、充電しても通常の使用時間より短いことがあります。
このようなときは、充電と通話（充電・放電）を何回か繰り返すと通常の状態に戻ります。

■ **充電式電池のリサイクルご協力のお願い**

この商品には、ニッケル水素電池を使用しています。
この電池は、リサイクル可能な貴重な資源です。
電池の交換、廃棄に際しては、リサイクルにご協力ください。

Ni-MH ニッケル水素電池のリサイクルにご協力ください。

●リサイクル協力店へのお問い合わせは、下記へお願いします。
・この商品またはニッケル水素電池をお買い求めいただいた販売店
・当店は充電式電池のリサイクルに協力しています。」のステッカーを貼ったシャープ商品取り扱い店
・（社）電池工業会小型二次電池再資源化推進センタ、および充電式電池リサイクル協力店くらぶ事務局
詳しくは、（社）電池工業会ホームページ「http://www.baj.or.jp/」をご覧ください。
・電池を分別廃棄している市町村がありますので、その場合は市町村の条例に基づいて廃棄してください。
●リサイクル時のご注意
・交換後不要になった電池、及び使用済み製品から取外した電池のリサイクルに際しては、ショートによる発煙、発火の恐れがありますので、端子を絶縁するためにテープを貼るかポリ袋に入れてリサイクル協力店にある充電式電池回収BOXに入れてください。
・外装カバー（被覆・チューブなど）をはがさないでください。
・電池を分解しないでください。

着信音の大きさや種類を変える

親機の着信音の大きさを変える

1 受話器を置いた状態で

（着信音量／スピーカー音量）を続けて押す

・はじめに1回押すと、現在設定されている音量が確認できます（音量は変わりません）。続けて押すと音量を変えることができます。
・ボタンを続けて押すと5段階に設定できます。音量の設定は表示されませんので、音を聞きながら設定してください。

親機の着信音を鳴らさないようにする

1 受話器を置いた状態で

（着信音量／スピーカー音量）を5秒以上（「ピー」という音が鳴るまで）押し続ける

・親機のディスプレイに［着信音 切］が表示されます。電話がかかってきたときは、ディスプレイに「外線着信」と表示されます。
・もう一度押すと、着信音を鳴らす設定になります。
・「切」にしているときでも、子機やドアホンからの着信音は鳴ります。

親機の着信音の種類を変える

電話がかかってきたときの着信音の種類を変えることができます。
親機の着信音は、あらかじめ6種類のメロディーが内蔵されています。

1 ◯(登録) ［3さ］［1あ］と押す

＜親機着信音選択＞
①電話ベル音
②鳥の声
③電子音
④バッハのインベンション
⑤ジュ・ト・ブ

2 ダイヤルボタンの［1あ］～［6は］で着信音を選ぶ

・工場出荷時は「電話ベル音」に設定されています。

1	電話ベル音
2	鳥の声
3	電子音
4	バッハのインベンション
5	ジュ・ト・ブ
6	シンフォニー40番

3 ◯（停止）を押す

■ **途中でやめるときは**
◯（停止）を押します。

■ **1つ前に戻るときは**
◯(戻る）を押します。

■ **設定した親機の着信音を確認するときは**
（着信音量ボタン）を1回押します。

お知らせ
●内線からの着信音は、常に「プルルル、プルルル」です。
●受信モードの設定（☞80 ページ）を「FAX 優先」にすると親機の着信音は「電話ベル音」になります。

子機の着信音の大きさを変える／鳴らさないようにする

通話ボタンを消灯させた状態で操作します。

1 (機能) を押し、(カーソル) で「チャクシンオンリョウ」を選ぶ

2 (機能) を押す

3 (カーソル) で音量を選ぶ

オンリョウ ダイ
↓ ↑
オンリョウ ショウ
↓ ↑
オンリョウ キリ

・「オンリョウ　ダイ」「オンリョウ　ショウ」「オンリョウ キリ」のいずれかを選びます。着信音を鳴らさないようにするときは、「オンリョウ キリ」を選びます。
・「キリ」に設定すると 着信切 が表示されます。電話がかかってきたときは、「チャクシン」と表示されます。

4 (機能) を押す

・「ピー」と鳴って待受画面に戻ります。

■ **途中でやめるときは**
(切) を押します。

子機の着信音の種類を変える

子機の着信音は、あらかじめ10種類内蔵されています。

通話ボタンを消灯させた状態で操作します。

1 (機能) を押し、(カーソル) で「チャクシンネイロ」を選ぶ

2 (機能) を押す

▲▼:ネイロセンタク

・現在設定されている着信音が鳴ります。

3 (カーソル) で着信音の種類を選ぶ

・選ぶたびに、着信音（確認音）が鳴ります。
・着信音の種類は表示されません。

01	「プルルル　プルルル」
02	「ポロロロ　ポロロロ」
03	「ピロン　ピロン」
04	「ショートメロディー①」
05	「ショートメロディー②」
06	「展覧会の絵」
07	「エリーゼのために」
08	「のばら」
09	「春」
10	「森のくまさん」

4 (機能) を押す

・「ピー」と鳴って待受画面に戻ります。

■ **途中でやめるときは**
(切) を押します。

お知らせ

●親機や他の子機、ドアホンから呼び出しを受けた場合、着信音を「キリ」にしていても、着信音が「ショウ」の大きさで鳴ります。
●優先呼出（☞39 ページ）を設定した子機の着信音を「キリ」にしているときは、外から電話がかかってきても、親機、子機ともに着信音は鳴りません。
●親機、子機ともに着信音を鳴らさない設定にしているときは、外から電話がかかってきても着信音は鳴りません。
●内線からの着信音は、常に「プルルル、プルルル」です。
●親機または子機、ドアホンからの内線着信音は変わりません。

受話音量やスピーカーの音量を変える

親機の受話音量を変える

通話中に受話器から聞こえる音量を変えることができます。

1 受話器を取って

受話音量 を続けて押し、音量を調節する（5段階）

・はじめに1回押すと、現在設定されている音量が確認できます。続けて押すと音量を変えることができます。
画面は、次のように表示されます。

音量=小███　大

子機の受話音量を変える

通話中に受話口から聞こえる音量を変えることができます。

1 通話中に

受話音量 を押す

標準 → 大 → 特大

・はじめは「標準」になっています。
「特大」「大」「標準」の3段階に設定できます。押すたびに切り替わります。音量の設定は表示されませんので、音を聞きながら設定してください。

親機のスピーカー音量を変える

録音再生時の音量や、通信時の音声ガイダンス（「ファクスを送信します。」など）の音量、留守録の応答メッセージの音量を変えることができます。（それぞれの音量を個別に変えることはできません。）

1 オンフック を押す

2 着信音量／スピーカー音量 を続けて押し、音量を調節する（5段階）

・はじめに1回押すと、現在設定されている音量が確認できます。続けて押すと音量を変えることができます。
画面は、次のように表示されます。

音量=小███　大

3 オンフック を押す

■ **相手の方に聞こえるこちらの声の大きさを変えたいときは（親機送話音量を調整する ☞117ページ）**

■ **親機のボタンを押したときに鳴る「ピッ」という音を鳴らさないようにするときは（☞90ページ）**

子機のスピーカー音量を変える

録音再生時の音量などを変えることができます。

1 スピーカーから音が聞こえているときに

スピーカー音量 を押す

・はじめは「標準」になっています。
標準 ⟷ 大の２段階に設定できます。押すたびに切り替わります。音量の設定は表示されませんので、音を聞きながら設定してください。

■ **相手の方に聞こえるこちらの声の大きさを変えたいときは（子機送話音量を調整する ☞117ページ）**

■ **子機の受話音量を全体的にさらに大きくしたいときは（子機受話音量を調整する ☞117ページ）**

■ **子機のボタンを押したときに鳴る「ピッ」という音を鳴らさないようにするときは（☞93ページ）**

お知らせ

●子機の受話音量を「特大」にしていると、音が歪む場合があります。
このときは、音量を「標準」にしてください。

日付と時刻を合わせる

親機の日付と時刻を合わせる

- 親機の日付や時刻を変えるときは、「日付・時刻を設定し直すときは」(☞17ページ)をご覧ください。
- 電源コードを抜いたり、停電などで電源が切れると、日付・時刻の設定は保持されません。あらためて設定してください。(☞16～17ページ)

子機の時刻を合わせる

子機の時刻を合わせるとディスプレイに時刻を表示します。(親機の時刻を合わせても子機の時刻は合いません。)

通話ボタンを消灯させた状態で操作します。

1 機能 **を押し、**
で「トケイトウロク」を選ぶ

2 機能 **を押す**

```
00:00
```

3 ダイヤルボタンで時刻を入れる

・時刻は24時間制で入れます。
例：1 5 0 0（午後3時 00分）

・1ケタのときは、最初に「0」をつけて入れます。
例：0 9 0 8（午前9時 8分）

・数字を入れまちがえたときは、でまちがえた数字を選んで、もう一度、入力し直します。

4 機能 **を押す**

```
15:00
```

↓

```
No. 1  15:00
```

・「ピー」と鳴ったあと待受画面に戻り、0秒から時計がスタートします。

■ 途中でやめるときは

切 を押します。

■「ピピピピ」と鳴ったときは

時刻として入力できる範囲を超えた数字が入力されています。はじめから入力をやり直してください。

お知らせ

- 時計の精度は、1ヵ月に±60秒ほどの誤差があります。(25℃の常温の場合)
- 充電池のコネクタが外れたり、充電池の容量がなくなると、設定した時刻は消えてしまいます。再度、登録してください。
- 操作の途中で約2分間何もしないでいると、待受画面に戻ります。そのときは、はじめからやり直してください。

あなたの電話番号や名前を登録する（親機）

あなたの電話番号を登録する

登録した電話番号は、ファクスを送ったとき、相手の方の記録紙にプリントされます。

1 ◯(登録) [1あ] [2か] [1あ] と押す

2 電話番号を入れる（最大20ケタ）

```
<発信元番号>
NO.=03123456789
```

・番号を入れまちがえたときは ◯(取消) を押して、もう一度入れ直します。
・スペース（空白）を入れるときは [#] を押します。
プラス（＋）を入れるときは [*] を押します。

3 (決定/FAXスタート) を押す

4 ◯(停止) を押す

あなたの名前を登録する

登録した名前は、電話番号と同じく相手の方の記録紙にプリントされます。

1 ◯(登録) [1あ] [3さ] [1あ] と押す

2 名前を入れる
（最大全角12文字／半角24文字）

```
< 発信元名 > [漢/かな]
池田 さとし
```

・文字の入力方法は 51 ～ 52 ページをご覧ください。

3 (決定/FAXスタート) を押す

4 ◯(停止) を押す

■ **途中でやめるときは**
◯(停止) を押します。

■ **1つ前に戻るときは**
◯(戻る) または ◯(取消) を押します。

■ **登録した電話番号や名前を消すときは**
① ◯(登録) [1あ] と押す
② 電話番号を消すときは [2か] [2か] [2か]、
名前を消すときは [3さ] [2か] [2か] と押す
③ ◯(停止) を押す

■ **登録した電話番号や名前を変えるときは**
一度消してから、もう一度登録します。